



安全データシート

1 化学品及び会社情報

- 1.1 製品名: ISK テルスターフロアブル
- 1.2 用途: 殺虫剤
- 1.3 会社情報: 会社名 石原産業株式会社
住所 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号
担当部門 バイオサイエンス事業本部 開発マーケティング部
電話:06-6444-7154 FAX:06-6444-7156
- 1.4 緊急連絡先: 会社名 石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部
電話:06-6444-7152
- 1.5 作成日: 2023年5月15日
改訂日: 2024年4月22日①

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ先: 石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)

2 危険有害性の要約

2.1 化学品の GHS 分類

JIS Z 7253 / GHS 分類マニュアルによる分類(改訂6版)

物理化学的危険性:

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	分類できない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性物質	分類できない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分4
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん及びミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(神経系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(神経系)

環境に対する有害性:

水生環境有害性 短期(急性)	区分1
----------------	-----

水生環境有害性 長期(慢性)

区分1

2.2 GHS ラベル要素

JIS Z 7253 / GHS 分類マニュアル(第6改訂版)による表示

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:

H302

飲み込むと有害

H371

神経系の障害のおそれ

H373

長期にわたる、または反復暴露による神経系の障害のおそれ

H400

水生生物に非常に強い毒性

H410

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

【安全対策】

安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。

P264

取り扱い後はよく手を洗うこと。

P270

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

P260

ミスト/蒸気を吸入しないこと。

P273

環境への放出を避けること。

【応急措置】

応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。

P301+P312

飲み込んだ場合: 気分が悪い時は医師に連絡すること。

P330

口をすすぐこと。

P308+P311

ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

P314

気分が悪い場合は、医師の診察/手当を受けること。

P391

漏出物を回収すること。

【保管】

保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

【廃棄】

P405 施錠して保管すること。

廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。

P501

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

2.3 その他の危険有害性: 特になし

3 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別: 混合物

3.2 成分:

一般名	ビフェントリン	水、界面活性剤等
化学名	2-メチルビフェニル-3-イルメチル(2)-(1RS, 3RS)-3-(2-クロロ-3, 3, 3-トリフルオロプロパ-1-エニル)-2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート	非公開
含有率	7.2 %	92.8 %
官報公示整理番号 化審法	農薬取締法に規制される物質 (4)-1701	—
官報公示整理番号 安衛法	7-(3)-277	—
CAS No.	82657-04-3	非公開

4 応急措置

4.1 応急措置の記載

- 眼に入った場合: 水で 15~20 分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合: 皮膚への刺激や不快感が生じた場合、製品の使用を止めること。大量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 吸入した場合: 直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。吐き気、頭痛などの症状が続く場合には、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合: 決して吐かせてはならない。水または牛乳で口の中を濯ぎ、胃の内容物を薄めるためにコップ 1~2 杯の水や牛乳をゆっくり飲ませる。アルコール分を含む飲料を与えてはいけない。意識混濁・昏睡状態、痙攣などの場合は、何も与えず、直ちに医師に連絡すること。
- 4.2 最も重要な兆候及び症状: データなし
- 4.3 医師に対する特別な注意事項: 本剤による中毒の治療法としては、動物実験で筋弛緩薬(メカカルバモール製剤等)の投与が有効であると報告されている。

5 火災時の措置

- 5.1 適切な消火剤: 粉末消火剤、泡消火剤、水噴霧、二酸化炭素を使用する。
- 5.2 使ってはならない消火剤: 火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。
- 5.3 特有の危険有害性: 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素、フッ化水素を生成するおそれがある。
加熱により容器が爆発するおそれがある。
- 5.4 特有の消火方法: 消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
ミストを吸入しないように注意する。
- 5.5 消火を行う者の保護具及び予防措置: 消火作業の際は、自給式呼吸維持装置、適切な眼・皮膚の保護具を着用する。

6 漏出時の措置

- 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具(「8. 暴露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
- 6.2 環境に対する注意事項: 周辺環境に影響があるおそれがあるため、製品の環境中への流出を避ける。
- 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材: 危険でなければ漏れを止める。
流出液は可能な限りドラム缶などに回収し、回収できなかったものは「13. 廃棄上の注意」に従って処理すること。ドラム缶などには内容物を明記したラベルを貼付する。
漏出場所の清掃は器具を用いて行い、中和には漂白剤、水酸化ナトリウム(苛性ソーダ)溶液を使用する。その後、水を用いて完全に洗浄する。
- 6.4 二次災害の防止措置: 取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。
すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意



安全データシート

7.1	取扱い:	
	技術的対策:	「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
	安全取扱い注意事項:	ミスト/蒸気を吸入しないこと。
	接触回避:	データなし
	衛生対策:	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
7.2	保管:	保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。
	安全な保管条件:	容器を密閉して換気の良い冷所で保管する。
	安全な容器包装材料:	破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8 ばく露防止及び保護措置

8.1	許容濃度等:	
	管理濃度:	設定されていない
	許容濃度:	設定されていない
8.2	設備対策:	ミストが発生する場合は換気装置を使用する。
8.3	保護具:	
	呼吸用保護具:	ミストが発生する場合、必要に応じて自給式空気呼吸装置付き保護マスクを着用する。
	手の保護具:	手に接触する恐れがある場合、薬品用のネオプレン、ニトリルゴム製等の保護手袋を着用する。
	目、顔面の保護具:	眼に入る恐れがある場合、薬品用保護ゴーグルを着用する。
	皮膚及び身体の保護具:	作業用の長袖上衣、長ズボン、帽子を着用すること。

9 物理的及び化学的性質

9.1	物理状態:	粘稠懸濁液体
9.2	色:	類白色
9.3	臭い:	データなし
9.4	融点/凝固点:	データなし
9.5	沸点又は初留点及び沸騰範囲:	データなし
9.6	可燃性:	データなし
9.7	爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:	データなし
9.8	引火点:	データなし
9.9	自然発火点:	データなし
9.10	分解温度:	データなし
9.11	pH:	5.8
9.12	動粘性率:	データなし
9.13	溶解度:	データなし
9.14	n-オクタノール/水分配係数:	データなし
9.15	蒸気圧:	データなし
9.16	密度及び/又は相対密度:	1.03
9.17	相対ガス密度:	データなし
9.18	粒子特性:	データなし

10 安定性及び反応性

10.1	反応性:	データなし
10.2	化学的安定性:	通常の取扱い条件下では安定である。
10.3	危険有害反応可能性:	データなし
10.4	避けるべき条件:	データなし
10.5	混触危険物質:	データなし



安全データシート

10.6	危険有害な分解生成物:	データなし
11 有害性情報		
11.1	急性毒性:	経口 LD ₅₀ 775 mg/kg(ラット♂)、632 mg/kg(ラット♀) 経皮 LD ₅₀ >2000 mg/kg(ウサギ♂、♀) 吸入 LC ₅₀ >0.25 mg/L(ラット♂、♀)
11.2	皮膚腐食性/刺激性:	データなし(ビフェントリンは陰性)
11.3	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	データなし(ビフェントリンは陰性)
11.4	呼吸器感作性又は皮膚感作性:	データなし(ビフェントリンは陽性)
11.5	生殖細胞変異原性:	データなし(ビフェントリンは陰性)
11.6	発がん性:	データなし(ビフェントリンは区分できず)
11.7	生殖毒性:	データなし(ビフェントリンは陰性)
11.8	特定標的臓器毒性(単回ばく露):	区分1(神経系)のビフェントリンを 7.2 %含むため区分2(神経系)とした。
11.9	特定標的臓器毒性(反復ばく露):	区分1(神経系)のビフェントリンを 7.2 %含むため区分2(神経系)とした。
11.10	誤えん有害性:	データなし
12 環境影響情報		
12.1	生態毒性:	水生環境有害性 短期(急性) データなし ニジマス(ビフェントリン) LC ₅₀ 0.00015 mg/L (96h) オミジンコ(ビフェントリン) EC ₅₀ 0.00011mg/L(48h)* 緑藻(ビフェントリン) EbC ₅₀ 516 mg/L(96h) *M factor 10,000 水生環境有害性 長期(慢性) データなし 緑藻(ビフェントリン) NOECr 0.438 µg/L(72h)
12.2	残留性・分解性:	土壤中での分解半減期は 65~125 日
12.3	生体蓄積性:	データなし(ビフェントリンは BCF=540~1330)
12.4	土壤中の移動性:	データなし((ビフェントリンは土壤中の移行性は低い)
12.5	オゾン層への有害性:	本品の成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13 廃棄上の注意		
	内容物/容器を国/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。	
13.1	内容物の廃棄:	廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
13.2	容器の廃棄:	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14 輸送上の注意		
14.1	国連番号:	3082
	品名:	Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s.(ビフェントリン)
	国連分類:	9
	容器等級:	III
14.2	海洋汚染物質:	該当
14.3	MARPOL73/78 附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質:	非該当
14.4	輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策:	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
14.5	国内規制がある場合の規制	陸上規制情報:道路法(車両の通行の制限)



安全データシート

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

情報:	航空規制情報: 該当せず
	海上規制情報: 該当せず
14.6 応急措置指針番号:	171

15 適用法令

農薬取締法:	農薬登録番号 第23430号
毒物及び劇物取締法:	劇物(ビフェントリン及びこれを含有する製剤)
消防法:	該当しない
労働安全衛生法:	第57条(表示対象物質) ビフェントリン(令和7年4月1日以降) 第57条の2(通知対象物質) ビフェントリン(令和7年4月1日以降)
化審法:	旧第2種監視化学物質 ビフェントリン
化管法:	第1種指定化学物質 該当しない 第2種指定化学物質 該当しない

16. その他の情報

本SDSはエフエムシー・ケミカルズ株式会社 [テルスターフロアブル]の安全データシート(改訂日:2023年10月1日)をもとに作成しています。

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ

石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)
※石原バイオサイエンス(株)の全国の支店のうち、最寄りの事業地につながります。

公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話	(大阪)	072-727-2499(情報料無料)
		365日24時間対応
	(つくば)	029-852-9999(情報料無料)
		365日24時間対応
中毒110番 医療機関専用有料電話	(大阪)	072-726-9923(1件2000円)
		365日24時間対応
	(つくば)	029-851-9999(1件2000円)
		365日24時間対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合、情報提供料は有料(1件につき2,000円)となります。

この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253:2019に基づいて作成しています。

SDS 作成部門

石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部
電話:06-6444-7152

SDS 承認部門

三重県四日市市石原町1番地
石原産業株式会社 環境安全衛生統括グループ
電話:059-345-6205 FAX:059-345-6206

記載内容の取扱い

本SDSの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。